

会津美里町本郷地域まちなか賑わい創出基本計画策定業務

日時：令和7年6月19日（木）18：30～

会場：本郷生涯学習センター

会津美里町本郷地域 まちなか賑わい創出基本計画

第1回協議会

第1回協議会 目次

1. 開会・挨拶 5分

副町長 鈴木 國人

2. 委員紹介 10分

(自己紹介)

3. 事業概要・趣旨説明 10分

- ・ 業務エリア
- ・ 文化観光施設の方向性
- ・ 官民連携事業について

4. キックオフ 20分

- ・ 本郷地域まちなか賑わい創出基本計画の策定にあたって
- ・ 本郷地域の既往の取組みと地区の位置づけ
- ・ 今後の話し合い、取組みについて (* 参考事例紹介)
- ・ アンケート調査について (* 別紙)

5. 意見交換 40分

何でも自由に

6. 総括 10分

会津短大 八木橋 彰

7. 今後の予定 5分

進め方・スケジュール

配布資料

- ・資料 1 次 第
- ・資料 2 会津美里町本郷地域まちなか賑わい創出協議会 委員名簿
- ・資料 3 会津美里町本郷地域まちなか賑わい創出協議会 設置要綱
- ・資料 4 文化観光施設の方向性
- ・資料 5 アンケート調査案
- ・資料 6 第 1 回協議会説明資料

第1回協議会 目次

1. 開会・挨拶

副町長 鈴木 國人

2. 委員紹介

(自己紹介)

3. 事業概要・趣旨説明

- ・ 業務エリア
- ・ 文化観光施設の方向性
- ・ 官民連携事業について

4. キックオフ

- ・ 本郷地域まちなか賑わい創出基本計画の策定にあたって
- ・ 本郷地域の既往の取組みと地区の位置づけ
- ・ 今後の話し合い、取組みについて (* 参考事例紹介)
- ・ アンケート調査について (* 別紙)

5. 意見交換

何でも自由に

6. 総括

会津短大 八木橋 彰

7. 今後の予定

進め方・スケジュール

第1回協議会 目次

1. 開会・挨拶

副町長 鈴木 國人

2. 委員紹介

(自己紹介)

3. 事業概要・趣旨説明

- ・ 業務エリア
- ・ 文化観光施設の方向性
- ・ 官民連携事業について

4. キックオフ

- ・ 本郷地域まちなか賑わい創出基本計画の策定にあたって
- ・ 本郷地域の既往の取組みと地区の位置づけ
- ・ 今後の話し合い、取組みについて (* 参考事例紹介)
- ・ アンケート調査について (* 別紙)

5. 意見交換

何でも自由に

6. 総括

会津短大 八木橋 彰

7. 今後の予定

進め方・スケジュール

第1回協議会 目次

1. 開会・挨拶

副町長 鈴木 國人

2. 委員紹介

(自己紹介)

3. 事業概要・趣旨説明

- ・ 業務エリア
- ・ 文化観光施設の方向性
- ・ 官民連携事業について

4. キックオフ

- ・ 本郷地域まちなか賑わい創出基本計画の策定にあたって
- ・ 本郷地域の既往の取組みと地区の位置づけ
- ・ 今後の話し合い、取組みについて (* 参考事例紹介)
- ・ アンケート調査について (* 別紙)

5. 意見交換

何でも自由に

6. 総括

会津短大 八木橋 彰

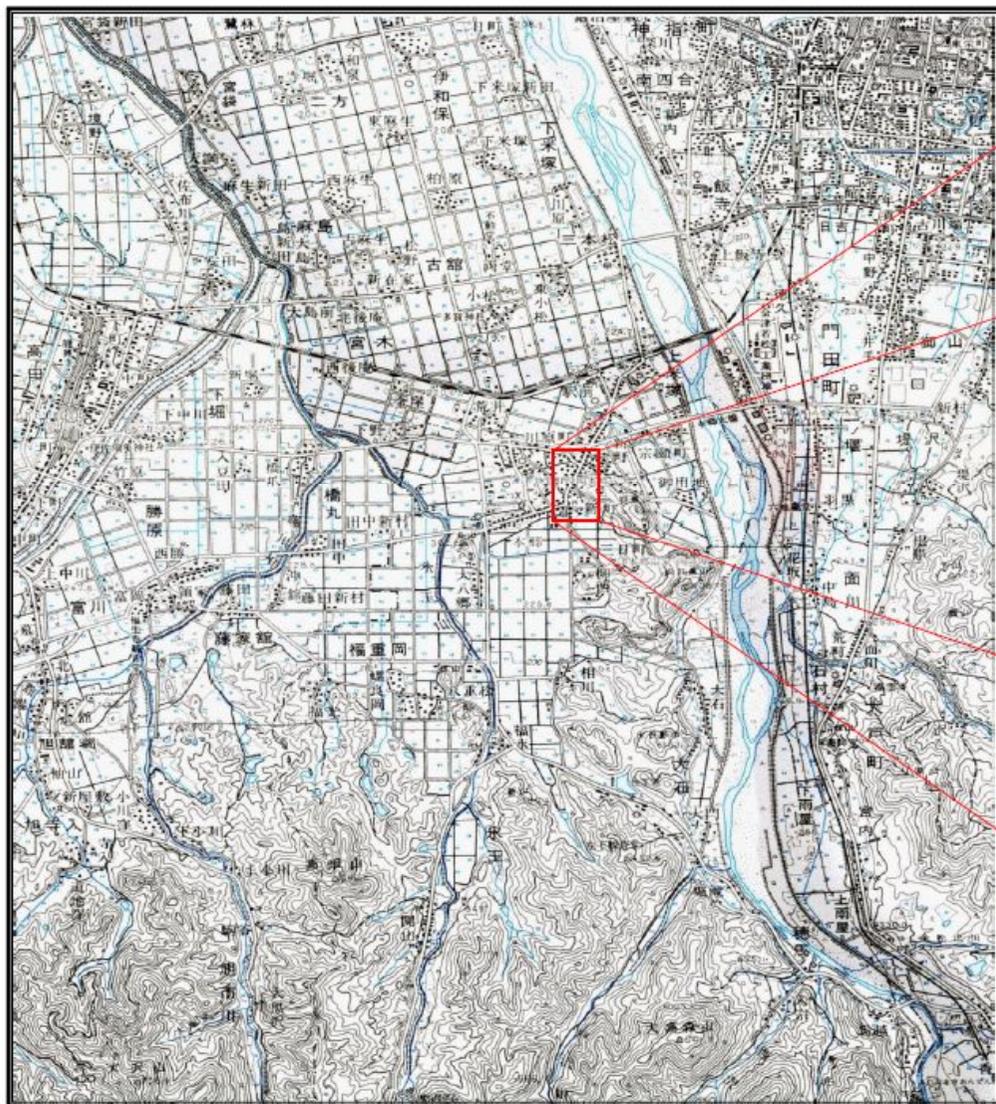
7. 今後の予定

進め方・スケジュール

業務エリア

業務対象エリア図

S=1/50,000



拡大図



文化観光施設の方向性

※プリント参照

官民連携まちなか再生 推進事業について

(将来的なシナリオ)

“まちなか賑わい創出基本計画”

なぜ、いま
「官民連携」で
「まちなか賑わい創出」
をすすめていくのか

行政主導のまちづくりでは、
限られた予算や担い手不足のもと、
なかなか計画の推進に至らないことが課題。



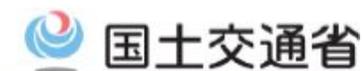
官民連携まちなか再生推進事業は、
運営にも住民が参画し、「自分たちのまちは、自分
でつくる」という、『**自立・自走システムの構築**』
に重点を置いているのが特長。



まちなかの賑わいに関わる文化観光施設等の整備
が計画されているいまこそその機会を逃さず、
「**エリアプラットフォーム**」設立を目指し、
社会実験を繰り返しながら、**計画・ビジョンの実現**
に向けて取り組みます。

官民連携まちなか再生推進事業の補助対象事業

□ : 公募対象



項目	内容	対象区域	補助対象事業者			補助率
			プラットフォーム	エリア 推進法人	民間 事業者等	
①プラットフォームの構築	未来ビジョンの作成を行うエリアプラットフォームの形成・運営に要する費用	全国	○ ※1 ※2	-	-	新規:定額 ※3
②未来ビジョン等の策定	未来ビジョンやアクションプログラムの策定に要する費用(データ収集・分析、専門人材活用、勉強会・意識啓発活動等)	全国	○	-	-	新規:定額 改定:1/2 ※3
③シティプロモーション・情報発信	まちづくりの担い手や就業者、来訪者など国内外の多様な人材を惹きつけるために行うシティプロモーション及び情報発信に要する費用(web作成、セミナー開催、専門人材活用等)	全国	○	-	-	1/2 ※4
④社会実験・データ活用	都市の魅力や国際競争力を強化するための事業実施にあたり必要となる社会実験・実証事業等に要する費用(公共空間等の活用促進や外国人就業者・来訪者の受け入れ体制の構築等に要する費用)	全国	○	-	-	1/2 ※4
⑤交流拠点等整備	地域交流創造施設	コワーキング・交流施設(地域住民や就業者等が交流することで新しい働き方や暮らし方に資する取組を促進する施設)の整備に要する費用	○	-	-	1/3
	国際交流創造施設	国際交流創造施設(国内外の多様な人材が交流することでビジネス創出を図る機能を有した施設)の整備に要する費用	○	-	-	1/3

エリアプラットフォームについて

エリアの未来ビジョンを議論し、将来像を共有。



ビジョンに向かって、まちを動かしていく母体。

未来ビジョンについて

記載事項

○地域の特性の現況分析

都市の魅力や国際競争力を備えた都市を構築するため、現状のエリアの魅力（強み）や課題を抽出・分析。

○地域の特性を踏まえた目指す姿

内外の多様な人材に対し、魅力的でわかりやすいビジュアルにより、エリアの将来像を示す。

○目指す姿に向けた施策と役割分担

まちなかの将来像を実現するための方針や施策、実施体制（役割分担）を記載。

○目指す姿にむけたロードマップ

まちなかの将来像を実現するため、各段階ごとの取組の内容等を記載。

記載のイメージ

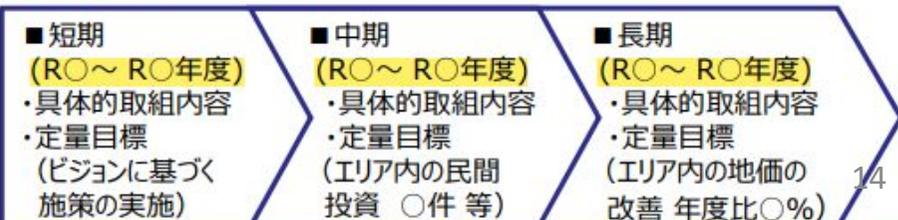
○ビジュアルで示すエリアの将来像



○将来像を実現する方針・施策や主体

将来像	方針	施策	実施主体
目指す姿	①：〇〇	①-1：〇〇	都再法人
		①-2：〇〇	〇〇市
	②：〇〇	②-1：〇〇	〇〇会社

○ロードマップ



今年度は、まずはその基本となる、
“まちなか賑わい創出基本計画”から取り組みます。



賑わい

って何でしょいか

官民連携 3つのキーワード

地域独自の課題を発見し解決する

それぞれのエリアにあわせた具体的なアプローチ

まちの空間資源を使いこなす

時代の変化により遊休化・余剰化している
空間資源（民地含めて）を積極的に発掘

作り手だけではなく使い手の視点で、
居心地よい環境をつくる

住む人も訪れる人も

まちなかの魅力向上 = 賑わい創出

観光のみならず、

- ✦ まずは住み暮らす自分たちが
楽しめるまち、住みよいまちを基本とする
まちづくりの発想で、かつ
- ✦ 計画だけに留まらない具体的な取組みや、
みんなが参加できるメニューを盛り込み、
まちづくりを進めていきます。

第1回協議会 目次

1. 開会・挨拶

副町長 鈴木 國人

2. 委員紹介

(自己紹介)

3. 事業概要・趣旨説明

- ・ 業務エリア
- ・ 文化観光施設の方向性
- ・ 官民連携事業について

4. キックオフ

- ・ 本郷地域まちなか賑わい創出基本計画の策定にあたって
- ・ 本郷地域の既往の取組みと地区の位置づけ
- ・ 今後の話し合い、取組みについて (* 参考事例紹介)
- ・ アンケート調査について (* 別紙)

5. 意見交換

何でも自由に

6. 総括

会津短大 八木橋 彰

7. 今後の予定

進め方・スケジュール

本郷地域の賑わい計画の要素はたくさんあるが、

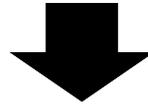
“人が集まる”

本郷地域の最大の価値

=

東北最古の焼き物のまち

スマホで簡単に予約できて、人と合わずに宿泊できて、
乗り物もなるべく時間の短縮から、
電車に乗っても、旅館に泊まってもスマホで情報を得るのに
一生懸命。



いまもすでにその片鱗があるが

自然＝マネー（お金では測れないが）

豊かで美しい自然とともにある暮らし
に、最大の価値と評価が集まる時代



その時重視されることは、

自然とともにある住環境・景観、
それを維持する材料や職人の技術、

それが残っていることの希少性・重要性

人口減少・高齢化時代の

賑わいづくり



ゆっくり時間をかけて

落ち着いた環境をつくる社会

観光・旅行スタイルの面でも

① 地方への関心の高まり

首都圏から地方への移住を支援する「ふるさと回帰センター」では2021年の移住相談件数が過去最多となり、北海道・茨城・栃木など東京圏からの転入超過人数が増えている地方自治体も多く、福島県でも2020年には移住相談件数が全都道府県で3位となるなど、全国的にUターン・Iターンへの関心が高まっている。



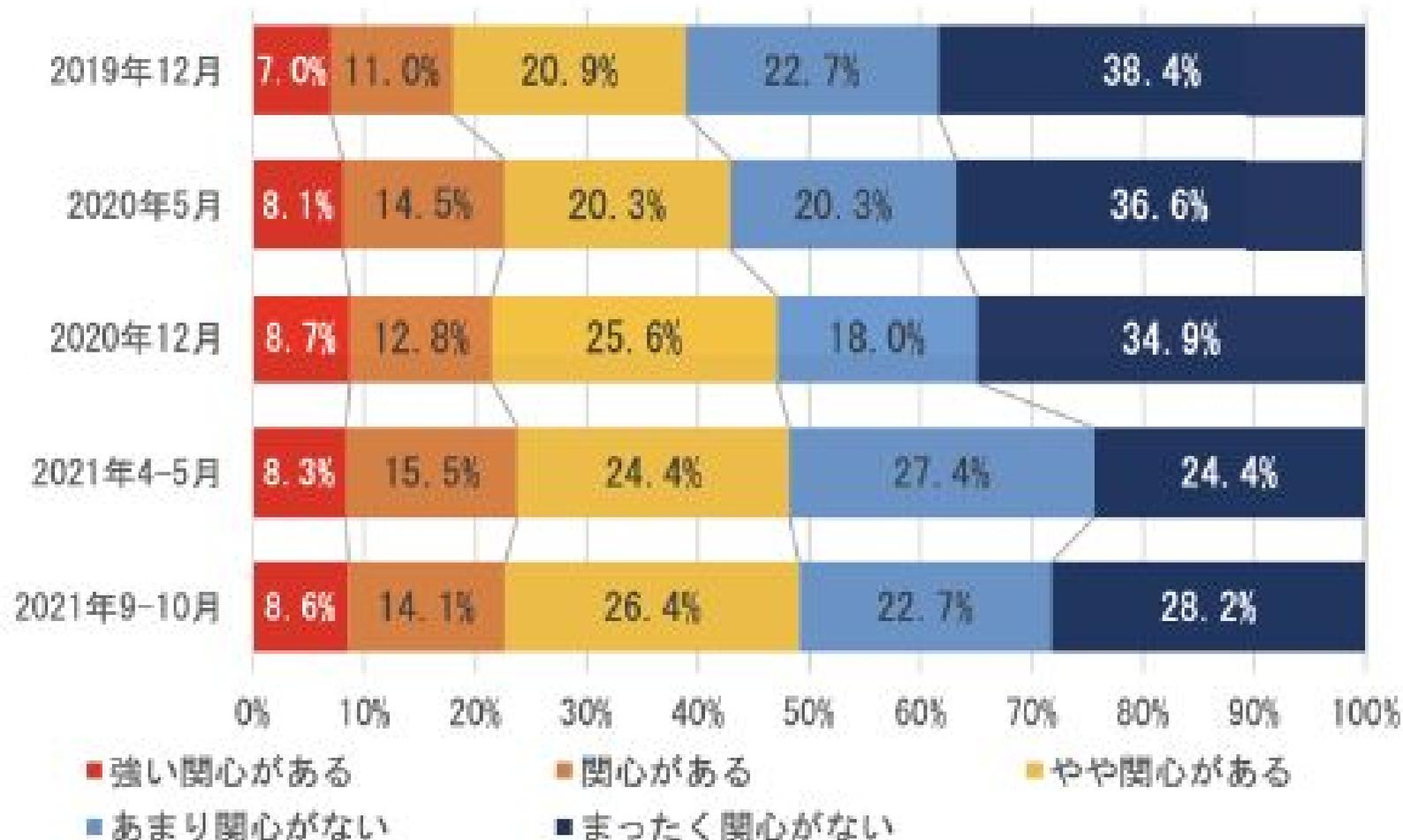
東京圏からの転入超過人数が増加している都道府県

	2019年4月～12月	2020年4月～12月	増加人数
1位 北海道	-1,949 人 (転出超過)	1,935 人 (転入超過)	3,884 人
2位 茨城県	-3,469 人	347 人	3,816 人
5位 栃木県	-2,597 人	127 人	2,724 人
8位 静岡県	-2,928 人	-384 人	2,544 人
9位 長野県	-1,214 人	1,058 人	2,272 人

全国都道府県移住相談件数
/ 総務省・R2年度における移住相談に関する調査結果

内閣府・地方創生テレワーク推進に向けた検討会議第一回資料 2020.12

東京圏に在住する 20 代の約 5 割が地方移住・地方との二拠点居住に関心があり、関心を持つ割合は年々拡大傾向にある。



内閣府・第4回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査 2021.11

② 文化や暮らしを楽しむ観光のニーズ

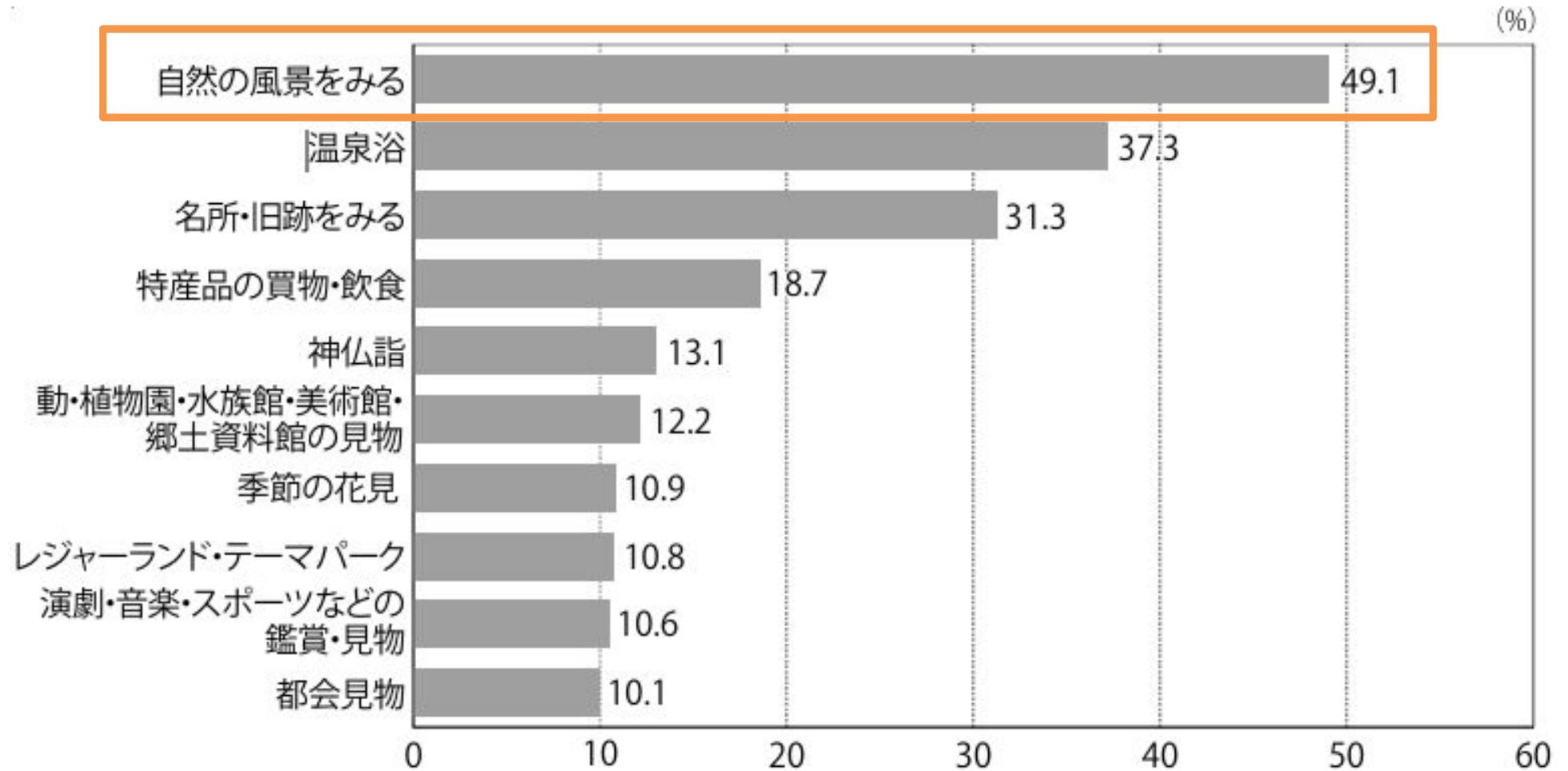
社会の変化SNSやAIによって、
世界中の景色やグルメ、スポットの情報は瞬時に手に入り、旅行の内容は誰でも簡単に組み立てられる時代。



しかし情報が溢れるほど、
本当に心が動く体験は、むしろ希少。

宿泊観光旅行の旅先での行動トップ10(2022年度)

数字が語る旅行業2024
出典:日本旅行業協会



宿泊観光旅行の利用交通機関

数字が語る旅行業2024
出典：日本旅行業協会

(%)

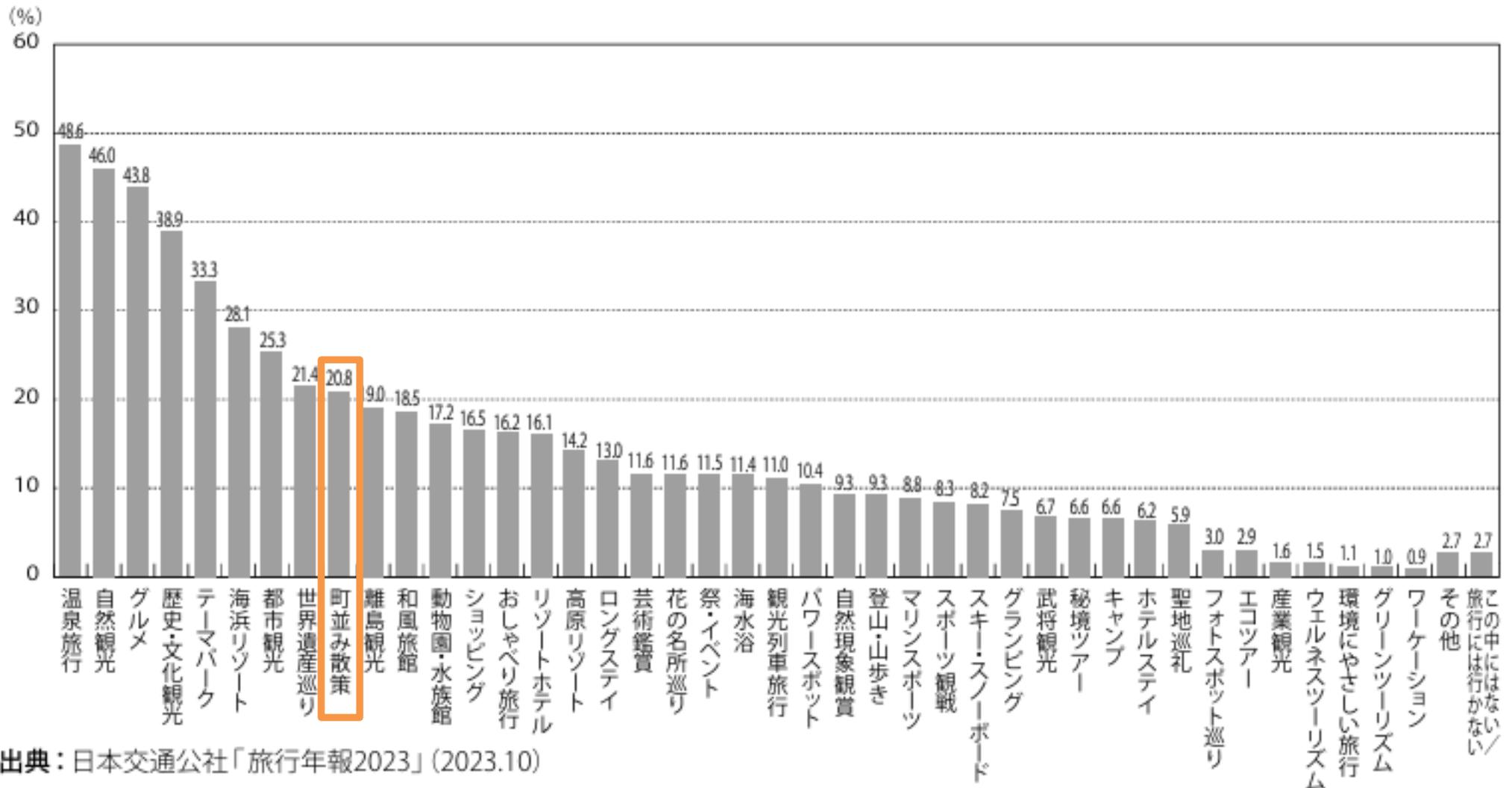
交通機関	年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
自家用車		45.8	46.7	45.5	45.8	42.3	44.7	54.9	52.3	46.6
貸切バス		9.5	7.9	8.7	8.6	7.8	7.9	5.1	3.8	5.3
JR		31.3	31.3	31.3	32.5	33.1	39.1	30.7	33.4	38.1
飛行機		13.6	14.3	13.3	13.5	16.5	16.0	10.7	10.9	14.1
私鉄		10.2	10.5	10.6	12.7	12.0	16.6	13.7	14.6	16.5
路線バス		8.1	8.0	8.2	9.2	9.0	12.7	10.9	10.6	13.0
レンタカー		6.0	6.9	6.6	6.6	7.0	10.0	8.3	8.6	8.7
タクシー・ハイヤー		2.7	2.8	2.6	2.9	3.4	5.4	3.6	3.5	4.3
船舶		2.0	2.0	2.1	2.1	2.1	2.6	2.4	2.0	2.3
その他		1.5	1.7	1.8	2.1	1.8	1.5	0.9	0.9	1.0

減少

増加

行ってみたい旅行タイプ(2023年)

数字が語る旅行業2024
出典: 日本旅行業協会



出典: 日本交通公社「旅行年報2023」(2023.10)

第1回協議会 目次

1. 開会・挨拶

副町長 鈴木 國人

2. 委員紹介

(自己紹介)

3. 事業概要・趣旨説明

- ・ 業務エリア
- ・ 文化観光施設の方向性
- ・ 官民連携事業について

4. キックオフ

- ・ 本郷地域まちなか賑わい創出基本計画の策定にあたって
- ・ 本郷地域の既往の取組みと地区の位置づけ
- ・ 今後の話し合い、取組みについて (* 参考事例紹介)
- ・ アンケート調査について (* 別紙)

5. 意見交換

何でも自由に

6. 総括

会津短大 八木橋 彰

7. 今後の予定

進め方・スケジュール

①

瀬戸町地区まちづくり協定

2000年
9月8日

本郷

住民間で協定締結

瀬戸町街なみ協議会が承認申請



山田町長(左)に協定書を手渡す水野会長と役員ら

「住まいづくり」「緑化」「広告物」にルール

景観との調和図る

会津本郷町の「瀬戸町地
区街なみ協議会」(水野俊
彦会長)は、町の自然や伝
統と調和した景観づくりの
ルールを定めた「瀬戸町地
区街なみの協定」を住民
間で締結。八日、町に対し
て承認申請の申請を行った。
協定承認の申請を行った。
まちづくり協定の締結は、
町が初めて。

「行政のまわりの」に住民の
意見を反映させるため、今
年二月発定。住民参加型の
ワークショップを町と共催
したほか、住民の同意を集
めてきた。

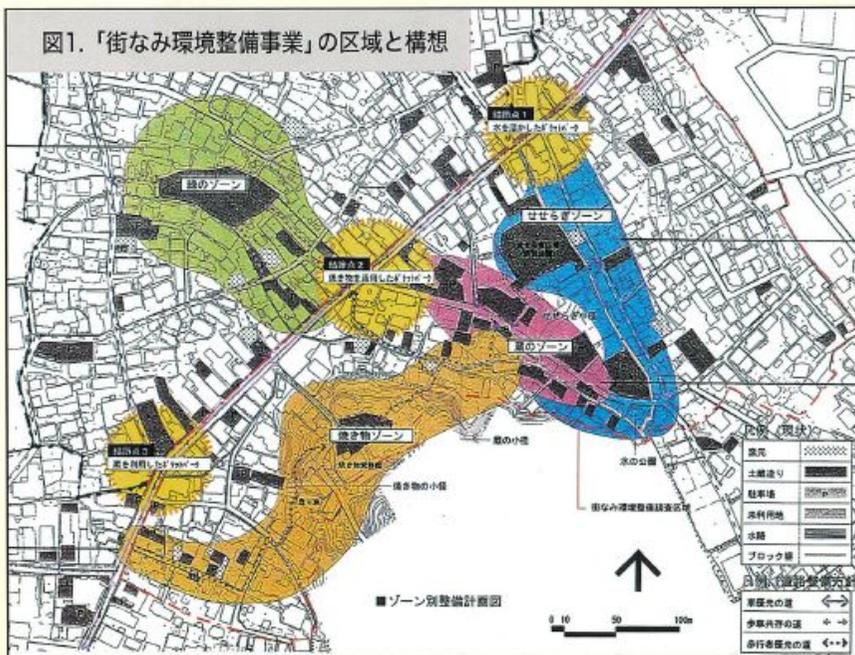
「景観」は、町内各地
の東側の地区。景観が玉房
と見えるほか、広告物作
業をめぐって、昔ながらの威
厳などがある。住民百八人
の「景観」の同意を
得た。

協定の内容は、景観
「景観」に「広告物」の
ルールを定めた。
住まいづくりは、伝
統的な景観に調和するよう
調和的な建物とする。色は原
色を避け、茶系も白、黒な
ど地域になじんだ色をす
る。屋外空調機は目隠しな
る。景観の維持を図る。

もつと 町を好きになる 快適なまちづくりのために

自分たちの生まれ育ったこの町がもつと
快適で美しく住みやすい町になるように
一緒にまちづくりをしませんか？

私たちは、快適なまちづくりのために、「瀬戸町地区街なみ協議会」を発足しました。現在町が計画づくりをしている「街なみ環境整備事業」においては、道路や公園などの公共施設の整備は進められますが、それだけでは快適で美しい町はつくれません。うるおいのある美しい環境は自らがつくるといふ気持ちをもって、住まいづくりなどに取り組むことが本当のまちづくりであると考えています。



まちづくりは、一人ひとりが主役です。皆さんと一緒に、まちづくりに取り組みましょう。協議会では、街なみづくりのルールをつくり、地区内にお住まいの方々と次のような内容の協定を結ぶことで、住民一丸となったまちづくりができるものと考えています。

住まいづくり

- できるかぎり伝統的な景観に調和するよう、和風的な建築物にしましょう。
- 色彩については、茶色系の色や無彩色（白・黒・灰）が地域になじんだ色です。原色の使用は避けましょう。
- プロパンガス、ボイラー、屋外空調機などはなるべく通りから見えない場所にするか、目隠しなどの修景改善に努めましょう。
- 土蔵などの伝統的な建築物の維持改善に努めましょう。

緑化

- うるおいのある景観づくりのため、敷地内の緑化とともに道路や水路に面した部分の緑化も心がけましょう。

広告物など

- 景観に調和するような広告や看板のデザインをしましょう。

図2. 整備イメージ



この協定は、個々の家を建築するときに規制や強制をするものではありません。この協定をもとにして、町の歴史・風土・特徴を知って頂き、家づくりや地域づくりに役立てて頂くものです。

近々、協議会の各担当者が皆さんのお宅へ説明に伺いますので、ご協力をお願いします。また、協議会の会員も同時に募りたいと思いますので、多数の入会も合わせてお願いします。

瀬戸町地区街なみ協議会	会長	水野俊彦	瀬戸町地区街なみ協議会	役員	小林浩
〃	役員	遠藤善一	〃	役員	鈴木俊二
〃	役員	大野雅志	〃	役員	高橋茂
〃	役員	根本勇夫	〃	役員	宗像利浩
〃	役員	岸力男	〃	役員	渡部正博

建物(屋根・規模・外壁)について

(1) 住宅の階数は、2階建てまでに努めます。

(2) 屋根は勾配屋根とし、色彩はこげ茶色系の色や無彩色(灰・黒)等、落ち着いた色とするよう努めます。

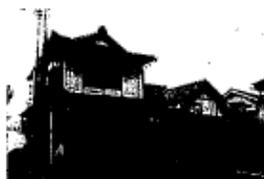
(3) 外壁は、周囲の街なみと調和するよう真壁づくりの雰囲気を出すように努め、色彩は茶色系の色や白色(しっくい等)を用いるように努めます。

周囲のまちなみにとけこむように心がけ、焼き物の町らしい雰囲気をつくりだして行きましょう。

[会津本郷町らしさを感じさせる外観の事例]



・真壁と格子は落ち着いた雰囲気を出します。



・町なかに咲く黄色みがかった鳥の子色の壁の住宅。



・下見板張りの外壁も落ち着いた雰囲気を出すデザインです。



・しっくい壁で蔵と母屋の仕上げを統一した良い例です。

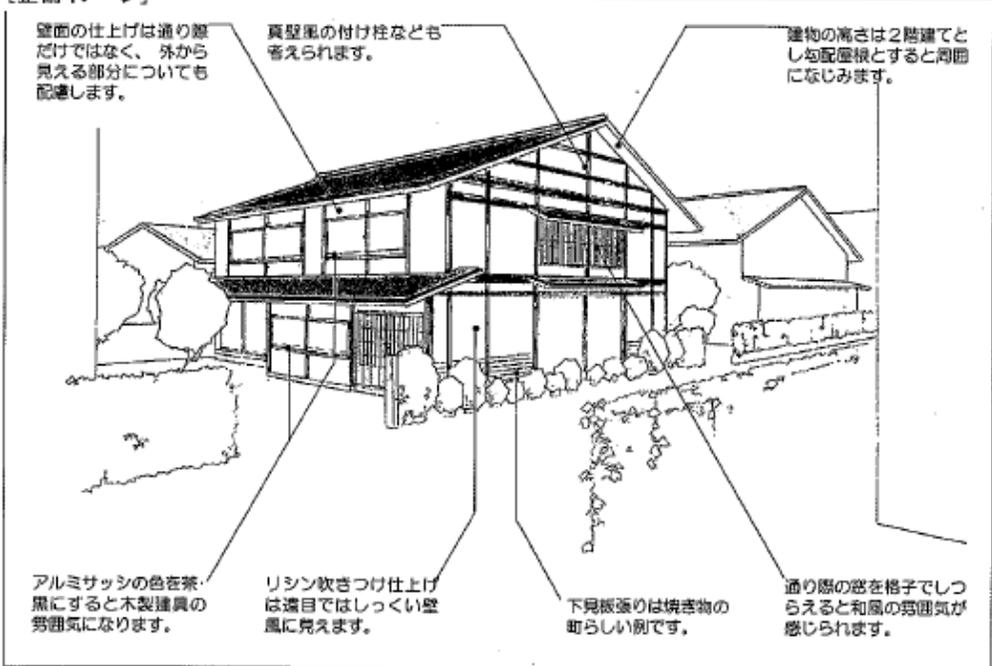


・通りに面する部分では格子をつけて和風の雰囲気を出しています。



・空き家を撤去した後の住宅。妻側を真壁風に補修しています。

[整備イメージ]



瀬戸町地区街づくり協定

(目的)

第1条 この協定は、良好な街なみ創出のため建築物や工作物及び住宅敷地(以下「住宅等」という。)の整備及び地区施設の維持管理等に関し必要な事項を定め、住環境の整備改善を推進し、ゆとりとるおいのある住宅地区の形成を図ることを目的とする。

(名称)

第2条 この協定は、瀬戸町地区街づくり協定(以下「協定」という。)と称する。

(協定の区域)

第3条 この協定の区域は、福島県大沼郡会津本郷町新町、瀬戸町、車川原、本郷上、川原町の一部とし、別紙の図に示す区域(以下「地区」という。)とする。

(協定の締結)

第4条 この協定は、地区内の土地所有者及び借地権者の2/3以上の合意によるものとする。

(協定の変更・廃止)

第5条 この協定に定めた事項を変更もしくは廃止しようとするときは、協定者の2/3以上の合意によらなければならない。

(住宅等の整備に関する事項)

第6条 第1条の目的を達成するため、住宅等の整備に関する事項を次のとおり定める。

1. 一般住宅

- (1) 住宅の階数は、2階建てまでに努める。
- (2) 屋根は勾配屋根とし、色彩は茶色系の色や無彩色(灰・黒)とするように努める。
- (3) 外壁は周囲の街なみと調和するよう、真壁づくりの雰囲気を出すように努め、色彩は茶色系の色や白色(しっくい等)を用いるように努める。
- (4) 外構工作物は、生け垣や板塀及び石垣など周辺環境と調和するよう努める。
- (5) プロパンガス、ボイラー及び屋外空調機等は、極力通りから見えない場所に設置するものとし、見えない場所に設置が困難なときは、目隠し等の修景改善に努める。
- (6) 土蔵等の維持修繕に努め、会津本郷の文化遺産を後世に伝える。
- (7) 屋外駐車場は緑化に努め、物置、車庫は、景観になじんだ材料や色彩に配慮するよう努める。

2. 店舗併用住宅

店舗併用住宅については、前項の一般住宅の項目に加え次の事項に配慮する。

- (1) 広告や看板の大きさ、デザイン、色調、材質を工夫し、会津本郷らしい歴史と文化を感じさせるように努める。
- (2) 屋外駐車場は極力緑化するものとし、無段差化・スロープ設置に努める。

(住宅等の維持管理に関する事項)

第7条 この協定に沿って整備された住宅等は、前条で規定する整備内容が保持されるよう維持管理に努める。

(地区施設の維持管理に関する事項)

第8条 会津本郷町が「街なみ環境整備事業」によって整備した道路・通路・小公園等の地区施設について、当該協定者は適正な維持管理に努める。

(協議会)

第9条 この協定の運用に関する事項は瀬戸町地区街なみ協議会(以下「協議会」という。)で行うものとする。

2 協議会の会則は、別に定める。

(協定の有効期間)

第10条 この協定の有効期間は、会津本郷町長の承認のあった日から10年間とする。

2 前項の期間は、協定者の2/3以上の合意により更新することができる。

(附則)

- 1 この協定は、会津本郷町長から承認のあった日から効力を発する。
- 2 この協定書を2部作成し1部を会津本郷町長に提出し、1部を協議会会長が保管し、その写しを協定者全員に配布する。

②

まちなみ環境整備事業

街並み景観に配慮、
豊かな自然が彩る焼き物

福島県会津若松市に隣接する会津本郷町は会津盆地の西西部に位置し、白河
なる山々が町を囲み、東部を阿賀川(天川)が流れる。南北に長く北の平坦部は大
南部はその六五パーセントを山林が占める。四百年余の歴史を持つ陶磁器の産地
から産業で栄えた。人口六千六百八十五人、世帯数二千八十一。(平成十六年六月

Aizuhongo-machi



町内あちこちに
広場や公園を整備。
焼き物の町にふさわしいデザ
インを取り入れ景観つくる。
今後は住宅の修景も！

せと市にやってくる
買い物客に町を回遊
してもらいたい。

下駄を履き、卸売りをし、
速成職人コンクオー
今年四月にオーブ
歴史と文化を学ん
至らなるとい
される約二
しをはじ
め陶器、磁器、
示されている。

今年5月30日に開催された「第3回災の都・向形山山城跡ふれあい茶会」
では、近き8キロもある本郷焼のわんで観光客らに茶が振る舞われた。
戦国武将室成氏(あしなもりうじ)公が築城した山崎向形山山城は会
津茶事発祥の地といわれている



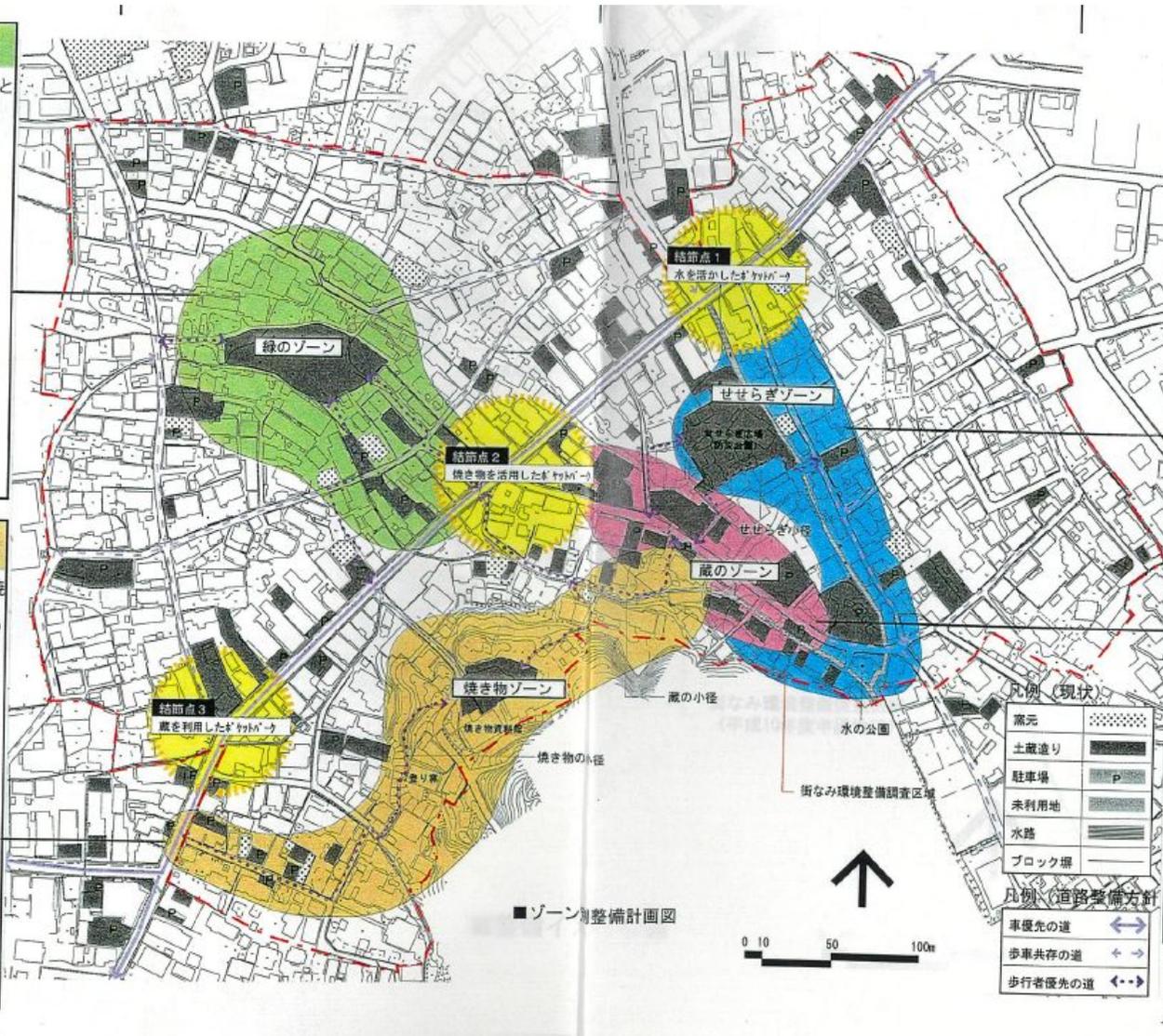
緑のゾーン

周辺住民や会津本郷町に訪れる人の憩いと交流の広場を整備します。



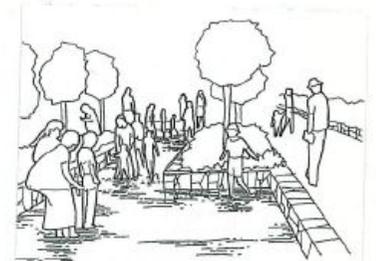
焼き物ゾーン

裏通りの焼き物関連施設をつなぐ通路（焼き物の小径）を整備し、散策のできる魅力ある遊歩道を演出します。



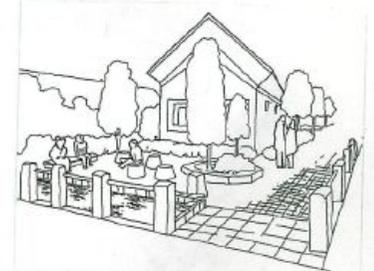
せせらぎゾーン

裏通りの水路沿いの道路を、親水性が高く、歩きやすい街路として整備します。



蔵のゾーン

裏通りに蔵の続く町なみを整備します。



※いずれのゾーンについても詳細は地区住民との協議（ワークショップなど）をふまえ、具体的な計画を進めていきます。

③

さまざま

情報発信・勉強会・イベント

・個々の取組み etc

あいづみさと観光百人衆

FUKUSHIMA 会津美里の日々

私たちの好きなまちの時間をあなたにも

住民目線での情報発信を推進する目的で実施した取組「会津美里の日々」
過去の取組をまとめましたので是非ご覧ください。



3月22日(火)
2022年1月28日(金)
あいづみさと観光百人衆×地域事業者
交流会@オンライン

進行

経歴優紀
Tafukusa株式会社代表/編集者/旅行業取締役兼理事



【本郷まちあるき体験】昭和の名残りをを感じる焼物の街並みをぶらり歩いてみませんか？ガイドがノスタルジックな世界にあなたをご案内します。

寺院仏閣巡り/まちあるき

受付中





東北最古のやきもの産地
会津本郷焼
 オープンファクトリー
 特別ツアー

開催日時

11/4(土),5(日),11(土),12(日)
 13:00~16:00 (予定)

参加費用

おひとり様 3,500 (税込)円

集合場所

会津本郷陶磁器会館

〒969-6042
 福島県大沼郡会津美里町字瀬戸町甲3162

【お問合わせ】 会津本郷陶磁器会館 ☎0242-56-3007
 営業時間：9:00~17:00 (水曜定休)

【申込方法・詳細】
 公式HPにて公開中



定員 各回先着8名様

※当日予約も可能ですが先着順の為お早めに
 申してください。

【注意事項】

- ・徒歩での移動となりますので歩きやすい服装、お靴でお越しください。
- ・内容が一部変更になる場合がございます。・少雨決行 / 荒天中止

個性豊かな窯元を巡り、“特別な日を彩る”！ 枚を発見！
東北最古のやきもの産地
会津本郷焼の窯元巡りツアー

会津本郷焼は、1593年に会津若松城主蒲生氏郷が鶴ヶ城の
 屋根瓦を作らせたのが始まりと言われる、東北最古の窯場です。
 今も昭和のまちなみが残る本郷地域には、個性豊かな12の窯元があります。
 自分の足で歩いて巡れる“ちょうどいい”やきもの産地で、
 「これと同じ会津本郷焼!？」と驚くほど個性豊かな窯元を巡れば、
 きっとあなたにぴったりの焼き物が見つかるはず！
 あなたの日常を彩る焼き物を探しに出かけてみませんか？

会津若松ICから
 車で約25分!

実演を見て、こだわり聞いて、凄さが分かる!

3軒の窯元を巡り、会津本郷焼の魅力を堪能できるガイドツアーを開催!

本プログラムのポイント

1. 普段入れない職人の制作現場に入り、特別に実演も見ることが出来る!
 制作現場や職人さんの実演を間近で見ること、迫力と凄さを実感できます。
2. プロの職人さんとの会話も楽しめる!
 とってもさくさく職人さんの人柄を知ると、さらに会津本郷焼が好きになってしまうかも!?
3. 窯元案内人が一緒に巡るから、おもしろい!
 会津本郷焼に関するストーリーや豆知識、昭和の雰囲気が残る路地裏のまちなみも楽しみいただけます。
4. 参加者には会津本郷焼のぐい呑みをプレゼント!
 ツアーの最後に職人が作った会津本郷焼のぐい呑みを1つお選びいただけます。

酔月窯、草春窯 工房 夷、
 流紋焼の3窯元を
 訪問します!



※写真は窯元の作品のイメージです。

開催日 3/4(土), 3/5(日) 13:00 - 16:00

定員 先着8名まで

参加費 2,500円 (税込) /人

申込方法 右下のQRコードもしくはお問合せ先まで
 ※申込締切：2/28(火)

集合場所

会津本郷陶磁器会館
 〒969-6042
 福島県大沼郡会津美里町
 字瀬戸町甲3162
 JR只見線会津本郷駅から
 徒歩で約15分
 磐越自動車道会津若松ICから
 車で約25分



【お問い合わせ先】
 会津本郷陶磁器会館
 0242-56-3007
 9:00~17:00 (水曜定休)

- 【注意事項】
- ・徒歩での移動となりますので、歩きやすい服装・靴でお越しください。
 - ・都合により、内容が一部変更になる場合がございます。
 - ・少雨決行 / 荒天中止

令和4年度 福島県 文化財等を活用した誘客促進事業

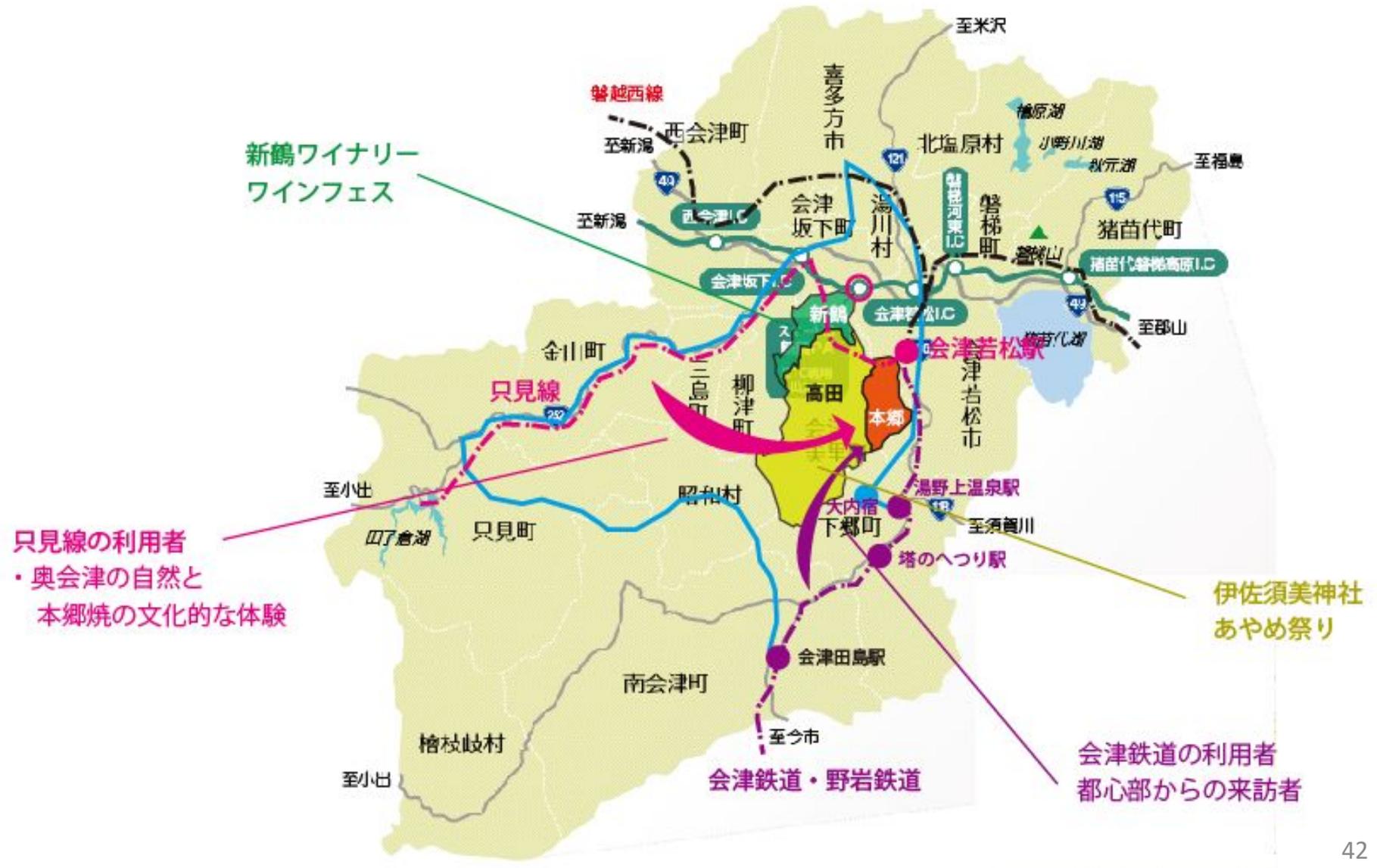
④

本郷地域及び周辺地区の 位置づけ

周辺地域とのつながり

広域的に見た立地的特性をいかした複合的な魅力の発信

町内の新鶴地域・高田地域との連携や、只見線、会津鉄道、「大内宿」といった奥会津の魅力ある地域との連携を図ることで、本郷地域のやきものまちなちの特異性を強め、広がりのあるまちなち賑わい創出、複合的な魅力の発信につなげます。



第1回協議会 目次

1. 開会・挨拶

副町長 鈴木 國人

2. 委員紹介

(自己紹介)

3. 事業概要・趣旨説明

- ・ 業務エリア
- ・ 文化観光施設の方向性
- ・ 官民連携事業について

4. キックオフ

- ・ 本郷地域まちなか賑わい創出基本計画の策定にあたって
- ・ 本郷地域の既往の取組みと地区の位置づけ
- ・ 今後の話し合い、取組みについて (* 参考事例紹介)
- ・ アンケート調査について (* 別紙)

5. 意見交換

何でも自由に

6. 総括

会津短大 八木橋 彰

7. 今後の予定

進め方・スケジュール

まちなか賑わい創出基本計画 策定にあたってのキーワード

1. 立地性と固有な魅力を
活かしたまちづくり

2. まちなかエリア全体の
まちづくり

3. ニーズが反映された
まちなかの推進

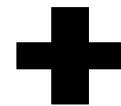
4. 持続可能な組織体制
の検討

これからの協議会で
取り組むこと

これまで行われてきた**計画・取り組み**や
まとめられてきた**事業内容** + α



- ・ **展開** 又は **組合せ** て実施できる取り組みの検討
- ・ すぐに着手できる様な**プロジェクトの具体化**
↑社会実験として試してみる！
- ・ 重点的にすすめる事業のスケジュール化



文化観光施設の整備計画等 と
足並みを揃えた**取り組みの展開**

本郷地域全体で

具体的なプロジェクトにしていくために

「こんな風になったらいいな」

「こういう使い方をしてみたい」

「こうしたらもっとよくなるのでは？」



話し合いで出てきた、

まちの未来像やまちの楽しみ方を

社会実験で確かめてみる！



既存の資源や取り組みを活かしながら、より細部にわたる取組みや場所、担う人などを描き加えていき、**具体性ある計画に**

未来ビジョンイメージ

：まちを楽しむためのプログラムと共に



例えば・
参考事例として

郡上八幡：やなか水のこみち このみち自体が目的になっている。



このみちとこのみちは、
じゃらんかけのこみちでつないだらどうか etc

通りににじみだす活動の誘発 まち歩きを誘う通りづくり



あの空き家・空き店舗・空き地が
こういう風に使われたらいいのではないか etc

土岐市：とっくりのまち

大きな整備はないが、住む人の工夫で。



住民のポストは陶器で統一
見て歩くだけで楽しい。

至るところにあそび心が。



こんなところに焼き物をつかったらどうか、

まち全体を焼き物のサインでつなげたらどうか etc

高知県：土佐凧活用の取組み



きしもとととさだこ

岸本と土佐凧。
匠が創る伝統の凧、
子供が描く自由な凧。
土佐湾から吹く
海風に乗って
この町を元気に彩る。



* コアメンバーやイベント参加のみでなく、
 周辺住民もまちづくりに参画できる機会を。

あなたのデザインした世界にたったひとつの「土佐風」で、高知県の海辺の小さな町、岸本を彩ってみませんか！
 絶賛募集中！

2020 KISHIMOTO TOSA-DAKO DESIGN COMPETITION

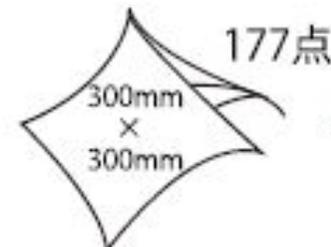
デザイン募集：香我美小学校 177点応募
 土佐風制作：吉川染物店 土佐風デザイン審査

2020 KISHIMOTO 主催 / お問い合わせ先 岸本集落活動センター準備会 TEL 0887-123-4567



デザイン募集：香我美小学校
 177点応募

土佐風制作：吉川染物店
 土佐風デザイン審査



実際の和紙風
 30×30cm

制作する
 土佐風フラッグ
 60×60cm
 生地：遮光ターボリン

受賞3作品のデザイナーによる土佐凧風アレンジ





子どもたちも参加でき、窯元に実際にまちを彩る
焼き物を制作してもらうのはどうか etc

第1回協議会 目次

1. 開会・挨拶

副町長 鈴木 國人

2. 委員紹介

(自己紹介)

3. 事業概要・趣旨説明

- ・ 業務エリア
- ・ 文化観光施設の方向性
- ・ 官民連携事業について

4. キックオフ

- ・ 本郷地域まちなか賑わい創出基本計画の策定にあたって
- ・ 本郷地域の既往の取組みと地区の位置づけ
- ・ 今後の話し合い、取組みについて (* 参考事例紹介)
- ・ アンケート調査について (* 別紙)

5. 意見交換

何でも自由に

6. 総括

会津短大 八木橋 彰

7. 今後の予定

進め方・スケジュール

アンケートの目的

対象①

「主に、会津美里町全体＋地域外からの来訪者」
どんなことをしていくべきか、していったらよいか、を
考えるための材料を聞き取る。

対象②

「主に、本郷地域の住民」 対象

協議会メンバーで考えた「計画案」について
意見の聞き取りを行い、肉付けを図る。

第1回協議会 目次

1. 開会・挨拶

副町長 鈴木 國人

2. 委員紹介

(自己紹介)

3. 事業概要・趣旨説明

- ・ 業務エリア
- ・ 文化観光施設の方向性
- ・ 官民連携事業について

4. キックオフ

- ・ 本郷地域まちなか賑わい創出基本計画の策定にあたって
- ・ 本郷地域の既往の取組みと地区の位置づけ
- ・ 今後の話し合い、取組みについて (* 参考事例紹介)
- ・ アンケート調査について (* 別紙)

5. 意見交換

何でも自由に

6. 総括

会津短大 八木橋 彰

7. 今後の予定

進め方・スケジュール

第1回協議会 目次

1. 開会・挨拶

副町長 鈴木 國人

2. 委員紹介

(自己紹介)

3. 事業概要・趣旨説明

- ・ 業務エリア
- ・ 文化観光施設の方向性
- ・ 官民連携事業について

4. キックオフ

- ・ 本郷地域まちなか賑わい創出基本計画の策定にあたって
- ・ 本郷地域の既往の取組みと地区の位置づけ
- ・ 今後の話し合い、取組みについて (* 参考事例紹介)
- ・ アンケート調査について (* 別紙)

5. 意見交換

何でも自由に

6. 総括

会津短大 八木橋 彰

7. 今後の予定

進め方・スケジュール

第1回協議会 目次

1. 開会・挨拶

副町長 鈴木 國人

2. 委員紹介

(自己紹介)

3. 事業概要・趣旨説明

- ・ 業務エリア
- ・ 文化観光施設の方向性
- ・ 官民連携事業について

4. キックオフ

- ・ 本郷地域まちなか賑わい創出基本計画の策定にあたって
- ・ 本郷地域の既往の取組みと地区の位置づけ
- ・ 今後の話し合い、取組みについて (* 参考事例紹介)
- ・ アンケート調査について (* 別紙)

5. 意見交換

何でも自由に

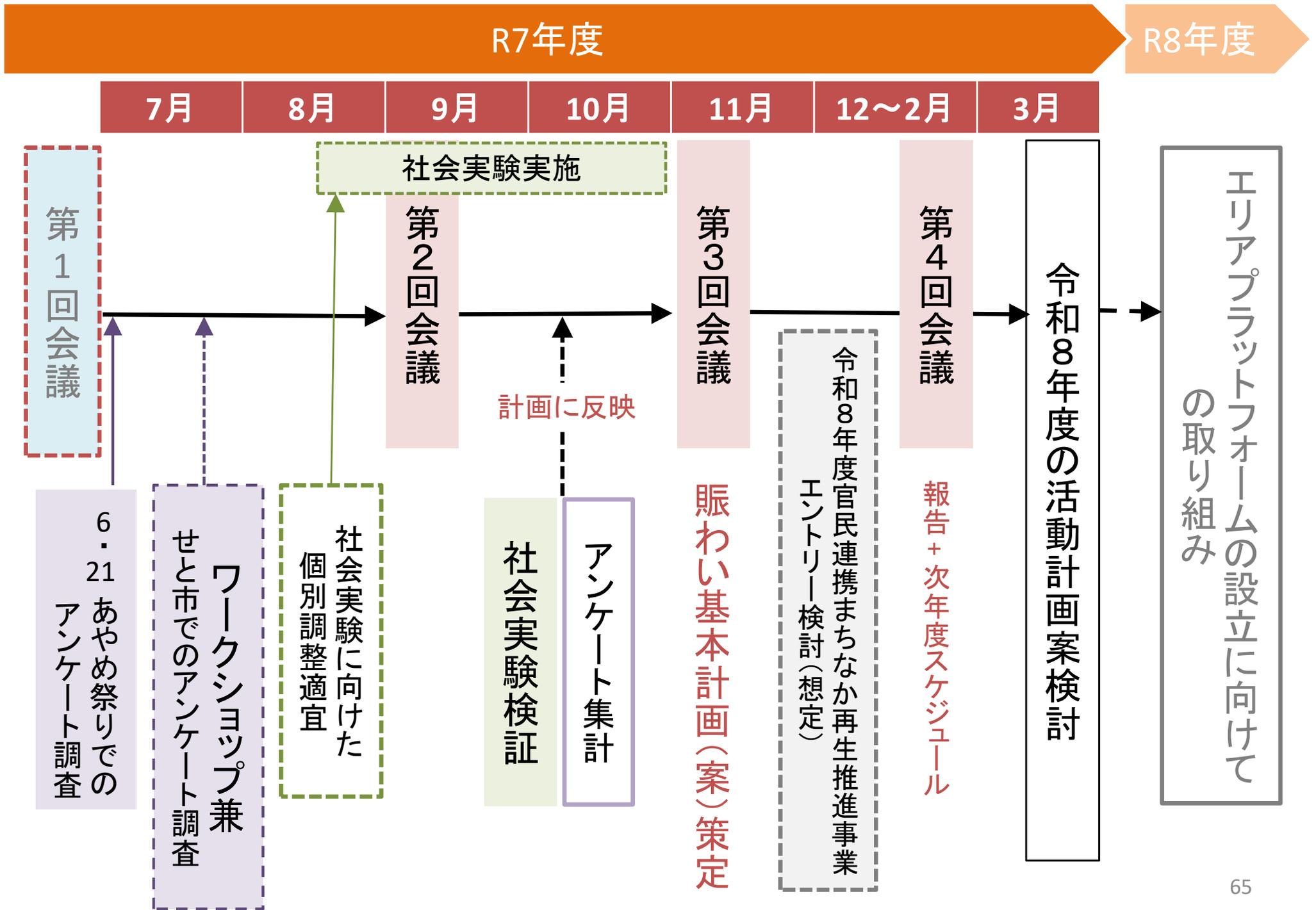
6. 総括

会津短大 八木橋 彰

7. 今後の予定

進め方・スケジュール

全体スケジュール



協議会の内容

第1回協議会キックオフ

第1回協議会の内容を踏まえ、
【まちなか賑わい創出基本計画全体図】への落とし込み
【具体的事業メニュー案】の組み立て

個別調整 社会実験実施計画の作成 (予算・スケジュール・役割分担)

ワークショップ・アンケート調査の実施

社会実験の実施 (※8~10月の間で予定。時期や内容は要検討)

第2回協議会

- ① アンケート結果や社会実験の確認・計画案への反映
- ② 今後の定量的・定性的な目標の検証

パブリックコメント等
反映・最終調整

第3回協議会

- ① 社会実験の成果、アンケート結果や課題をフィードバック
→まちなか賑わい創出基本計画(案)の確認と検証
- ② 事業推進のためのエリアプラットフォームに向けた検討

最終回 第4回協議会

- ① 今年度事業報告
- ② 次年度の取り組みについて

※官民連携の参考事業

どんなふうを活用するか、
どう維持管理していくか、
をセットで充分に話し合うことで
まちの整備につなげていく

EX.1 寄付された空き家再生事業 「通りにぎわい創出プロジェクト」

先にテナントを公募、それに合わせて町家改修



テナント決定後、要望を踏まえながら改修

ポイント：1軒だけでは弱い。隣の空き家も活用促す

改築前



改築後



改築前



道路整備と
合わせて

改築



ポイント：隣同士／3軒並ぶことで相乗効果



ポイント：公募して住民が選んだテナント

- ・町になかった店舗がほしい
- ・若者がくる通りにしたい。



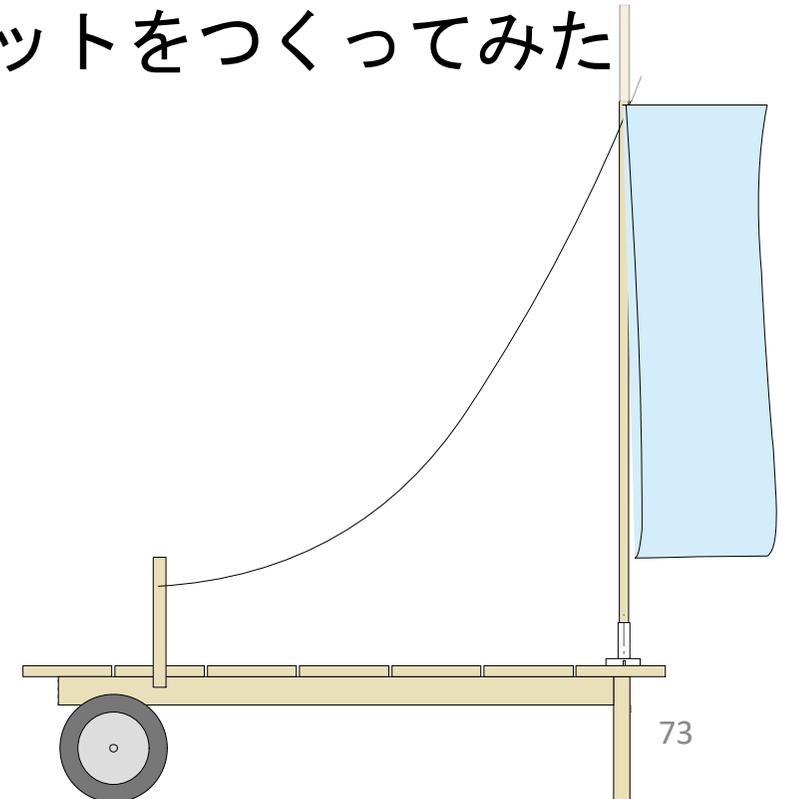
カフェ + パン屋さん + 美容室

EX.2 実証実験しながら広場を整備

ポイント：移動型のベンチや簡易テントなどを制作して、**実際に活動・活用**しながら敷地の活用イメージを高め、整備につなげていく。



もてなすために、
いろいろな場所に休憩スポットをつくってみた



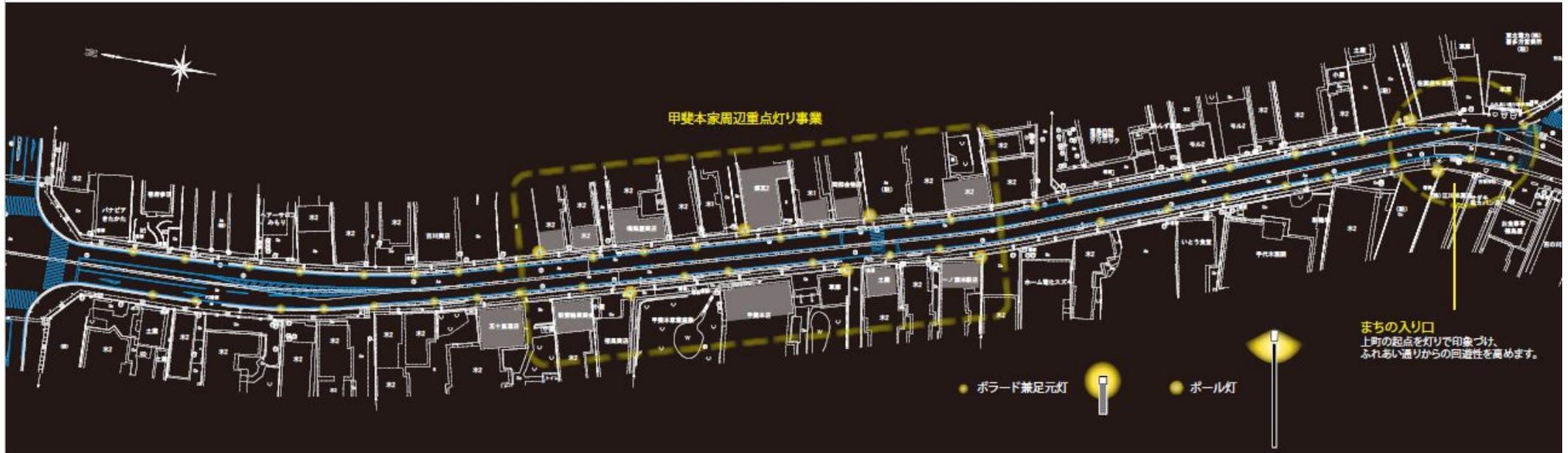
ポイント：広場の活用、管理運営は住民が実践



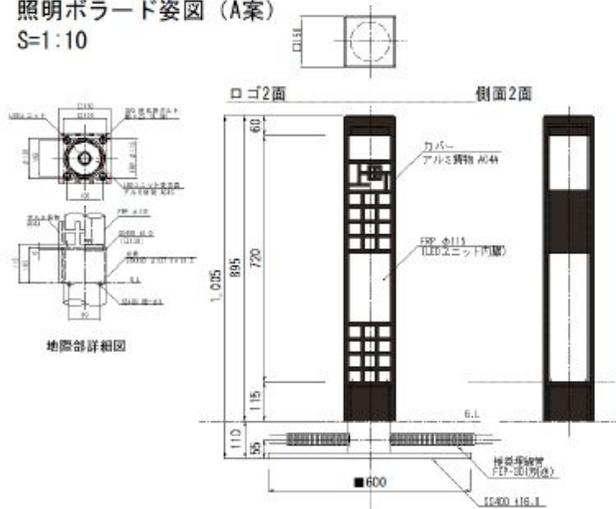
EX.3 実証実験を通じた道路整備への展開

夜間景観・街路灯整備の検討

町のシンボルである甲斐本家蔵座敷を中心として、上町にふさわしい目指すべきデザインの方向性と、実現していくためのまちなみづくりのヒントをまとめた、デザインガイドラインを作成しました。周辺市街地においてもさまざまな波及効果をもたらし、表通りから裏通りを含め上町地区がゆるやかにつながり、将来にわたって、まちが美しく作り続けられることを目指していきます。これまで町で取り組んできた「上町ロゴ」を活用した足元灯のデザイン検討をして、実証実験を行い、夜間の景観づくりも進めています。



照明ポラード姿図 (A案)
S=1:10



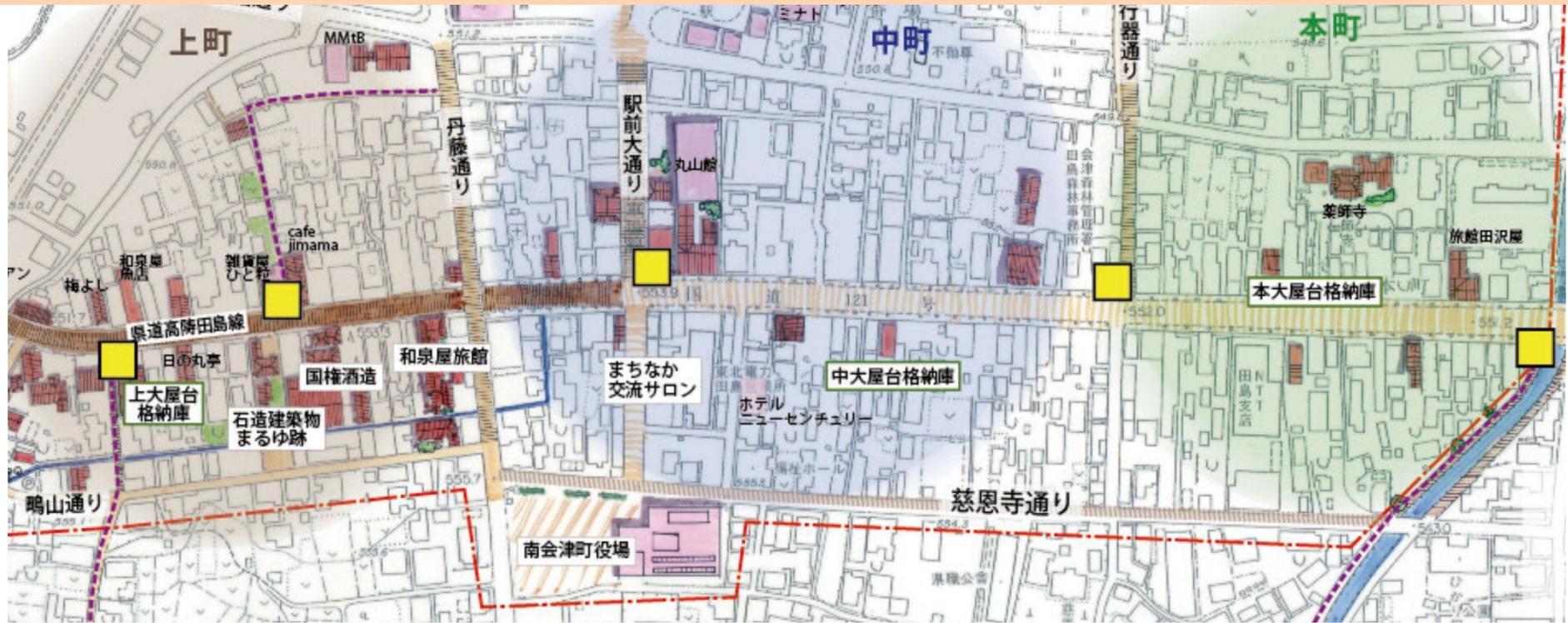
住民による模型を使った街路灯デザイン実証実験



ポイント：夜の灯りを自分たちで仮設置してみる



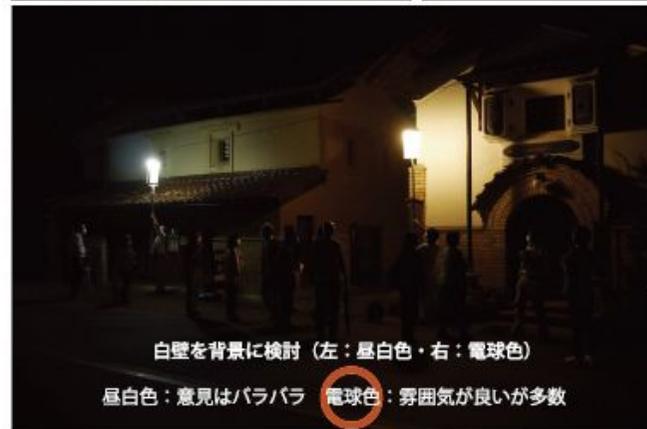
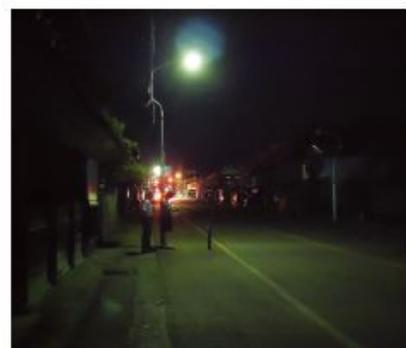
ポイント：最低限必要な箇所を選定して実現へ



ポイント：夜のまちの雰囲気良いイメージの共有



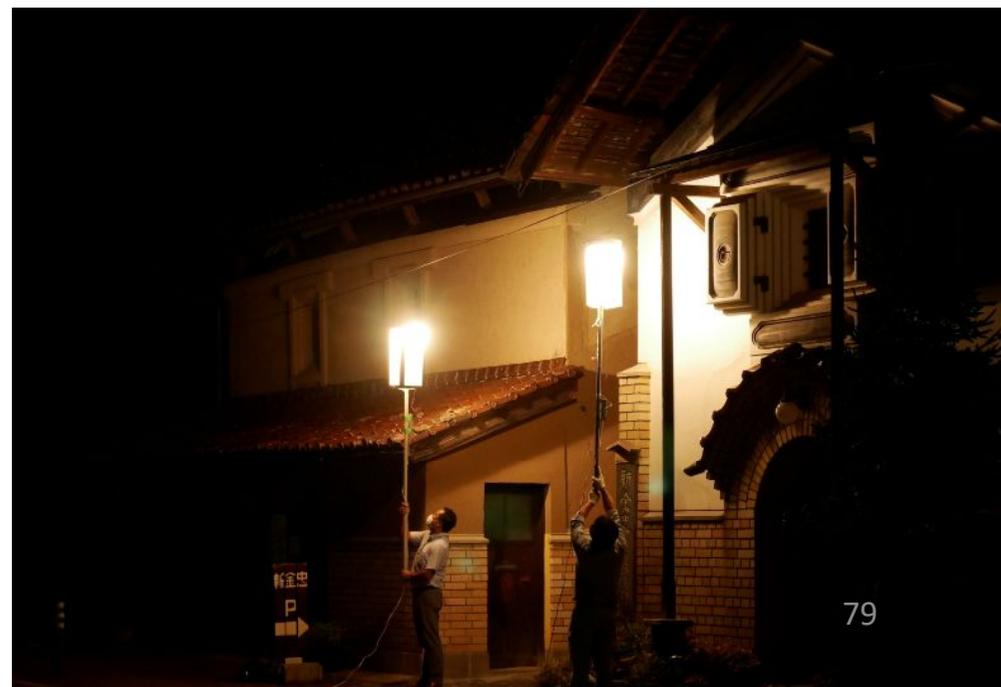
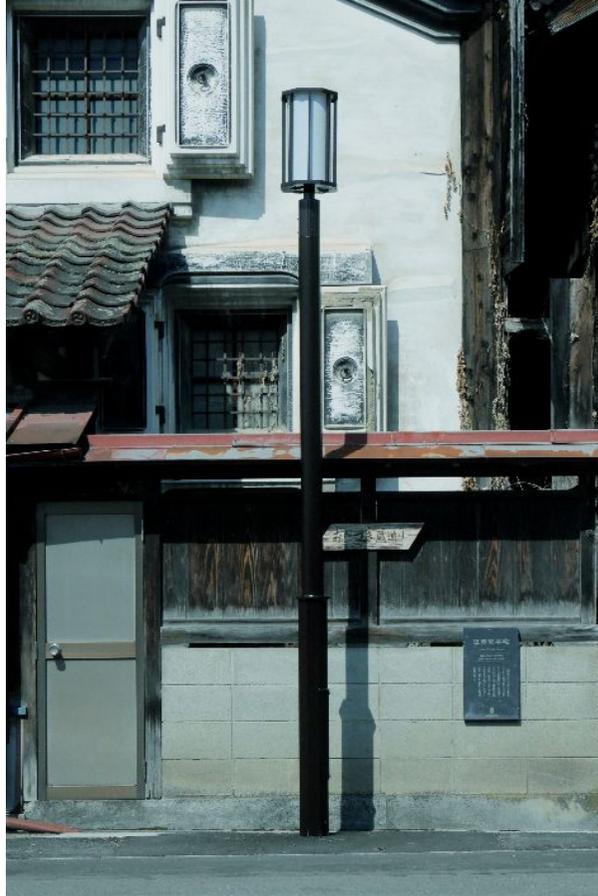
色温度（昼白色と電球色）と灯具デザイン



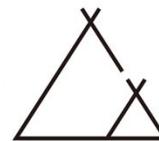
その他具体的な意見

- ・56WLED ランプ（水銀ランプ 200W 相当）は明るすぎる。100W がよい。
- ・29WLED ランプ（水銀ランプ 100W 相当）でも明るく感じる。それより下げてもよいのでは。
- ・明るさや高さは灯具のデザインにもよる。





Planning & design



合同会社

設計まちづくり株式会社